

新時代ビジョン研究会

テーマ・概要 新時代ビジョン研究会は鹿島平和研究所とPHP総研の共同プロジェクトとして、2018年4月からスタートし、各界の第一人者と研究者を招いた研究会の内容を論壇誌『Voice』に掲載し（全17回）、2020年10月には、各研究会の成果と研究会における検討をとりまとめ『日本の新時代ビジョン「せめぎあいの時代」を生き抜く楕円型社会へ』を刊行した。その後、同プロジェクトでは、楕円型社会の地方における青年経営者による実践例を取り上げ、紹介するため、日本青年会議所の協力を得て「質的価値創造×日本の新時代ビジョン」の特集を論壇誌『Voice』に掲載した（全8回）。それぞれの地域の価値を再発見し、これを磨き、育てていく動きは全国各地に着実に広がり、問題意識を有する若い世代の支持は確実に広がりつつあるものの、研究会としてはコロナ禍もあって、2021年4月以降は活動を休止していた。一方、政策の動きとしては、2014年にいわゆる増田レポートを発表し、その後の地方創生の流れを作った増田氏等が「人口戦略会議」を2024年初頭に立ち上げ、あらためて、人口減少社会を警告している。もちろん人口減は日本にとって深刻な課題だが、同レポートに煽られ数ばかりを追いかける現状の政策対応では、自治体による婚活やマッチングサイトアプリなどの弥縫策が増えるばかりで、新時代ビジョン研究会が取り上げてきたそれぞれの地域の価値の再発見にはじまる楕円型社会、日本の競争力につながる本来の価値創造からは遠のいてしまう。

テーマ・概要 以上のこれまでの研究会の成果と問題意識を踏まえ、新時代ビジョン研究会を再稼働することとした。具体的には、全国各地で現場の取材を重ねる地方の新聞社の記者の協力を得て、「楕円型社会」を具体化した事例に関する研究を積み重ねていく。また、研究成果については、研究会での発表だけではなく、『Voice』誌上でも発表していく。政官財学各界の注目を集める論壇誌に地方の書き手が地方の力や課題について記述する貴重な機会ともなり、日本の課題ともいえる中央メディア偏重に一石を投じることを目指す。

期 間 2024年10月1日～2025年9月30日

開催実績 (2024年度) 有識者若干名で研究会を構成する。そのうち少数のコアメンバーにより、全体的な調整や認識の共有、ゲスト講師を招いての研究会（ゲスト研究会）を中核とするプロジェクトの方向づけを行なう。

・第1回研究会（事例報告及びディスカッション）

日時：2024年11月26日（火）14:00－16:00

テーマ：「『対話』をまちづくりの礎に―福岡県大刀洗町」

ゲストスピーカー：前田隆夫氏（西日本新聞論説委員）

（前田氏の論考は論壇誌『Voice』2025年3月号に掲載）

開 催 実 績 ・第2回研究会（事例報告及びディスカッション）
（2024年度） 日時：2025年1月30日（木）15:00－17:00
テーマ「『まちなか地元学』のすすめ－宮城県仙台市」
ゲストスピーカー：門田一徳氏（河北新報記者）
（門田氏の論考は論壇誌『Voice』2025年5月号に掲載）

メンバー

亀井 善太郎（主査）

PHP 総研 主席研究員

立教大学大学院社会デザイン研究科 特任教授

平泉 信之

一般財団法人鹿島平和研究所 会長

株式会社アバンアソシエイツ 顧問

小黒 一正

一般財団法人鹿島平和研究所 理事

法政大学 教授

松本 道雄

一般財団法人鹿島平和研究所 理事

株式会社 KJR マネジメント

末松 弥奈子

株式会社ジャパントイムズ 代表取締役会長兼社長

学校法人神石高原学園 理事長

御立 尚資

京都大学経営管理大学院 特別教授

公益財団法人大原芸術財団 理事

株式会社熟と爛 代表取締役会長

金子 将史

政策シンクタンク PHP 総研 代表・研究主幹

株式会社 PHP 研究所 取締役常務執行役員